鹿児島県総合教育センター所報

大原台

平成22年12月8日発行
第　140　号

〒891-1393　鹿児島市宮之浦町862
TEL：099－294－2311
FAX：099－294－2309
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/
かごしま教育ホットライン24
0120-783-574（フリーダイヤル）
099-294-2200（直通）
0570-0-78310（全国統一ダイヤル）

平成22年度 調査研究発表会 案内

全体研究主題

生きる力を豊かに育てる学校教育の創造

【昨年度の調査研究発表会全体会の様子】

平成23年1月28日（金）開催

全体会

○調査研究の概要（プロジェクトによる研究の中間発表を含む）
○研究発表（教科教育研修課，情報教育研修課，教育相談課）
- 「自ら考え判断し，表現できる力をはぐくむ学習指導の在り方に関する研究」　～各教科等の言語活動の充実を通して～
- 「児童生徒の発達の段階に応じた情報モラルの指導の在り方に関する研究」
- 「自己指導能力の育成に向けた組織的・計画的な生徒指導の在り方に関する研究」～実態把握及び年間指導計画の工夫を通して～

分科会

第1分科会（国語科）
第2分科会（社会・地歴・公民科）
第3分科会（算数・数学科）
第4分科会（理科）
第5分科会（外国語活動，外国語科）
第6分科会（情報教育）
第7分科会（特別支援教育）
第8分科会（教育相談）

各分科会では、小学校・中学校・高等学校の研究協力員による事例発表もあります。

当日の日程

9:00　9:30　9:40　10:05　10:40　10:50　12:00　12:10　13:10　16:10　16:15

受付	全体会					Webサイト等の活用	昼食・休憩	分科会	
	開会行事	調査研究の概要	研究発表【教科教育研修課】	準備	研究発表【情報教育研修課】【教育相談課】（各35）			・研究発表 ・事例発表 ・研究協議 （15分準備含む。）	閉会行事
(30)	(10)	(25)	(35)	(10)	(70)	(10)	(60)	(180)	(5)

全体会では，こんな内容を発表します！

○　「研究発表」では…

３つの課（教科教育研修課，情報教育研修課，教育相談課）による研究発表を行います。発表は，次のような内容を予定しています。

教科教育研修課

【発表内容】

1　「自ら考え判断し，表現できる力」を育成することが求められる背景や，そのためになぜ「言語活動の充実」を図る必要があるのかについて整理します。
2　「言語活動の充実」とはどのようなことかを明らかにし，これまでの取組の課題などを踏まえ，その充実の視点を示します。
3　言語活動の充実の視点を踏まえた学習指導の工夫や思考力・判断力・表現力を育成する言語活動の具体化，単元の指導計画の工夫などについて提案します。

情報教育研修課

【発表内容】

1　情報モラルの指導に関する本県の実態及び課題を基に，今求められる情報モラルの指導とは何かを明らかにします。
2　年間指導計画への情報モラルの指導の位置付けについて例示します。
3　情報モラルの年間指導計画例に基づく授業の在り方とWeb上の教材の有効な活用について発表します。

教育相談課

【発表内容】

1　自己指導能力の育成を目指した生徒指導を推進するために，本県における生徒指導の取組の状況と課題を明らかにします。
2　個別及び集団の実態を把握する質問紙（「学校楽シート」）や結果の分析及び実態を踏まえた対応例を示します。
3　組織的・計画的な生徒指導を進める年間指導計画の工夫について発表します。

○　「調査研究の概要」では，「授業力を高める校内研修の進め方」も発表

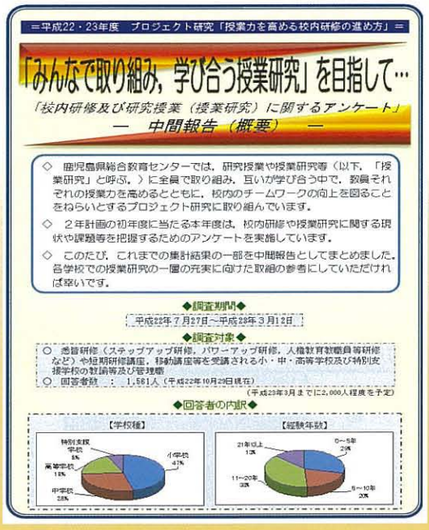
本県教職員の資質向上を図ることは信頼される学校つくりのために不可欠であり，中でも児童生徒の学力の現状を考えると，校内研修等において授業力を高めることは喫緊の課題です。

また，教職員の資質向上に関するこれまでの中央教育審議会答申や本年度６月の中央教育審議会への諮問内容等では，教職員が協働して体験的に学び合える研修の充実を図ることが求められています。

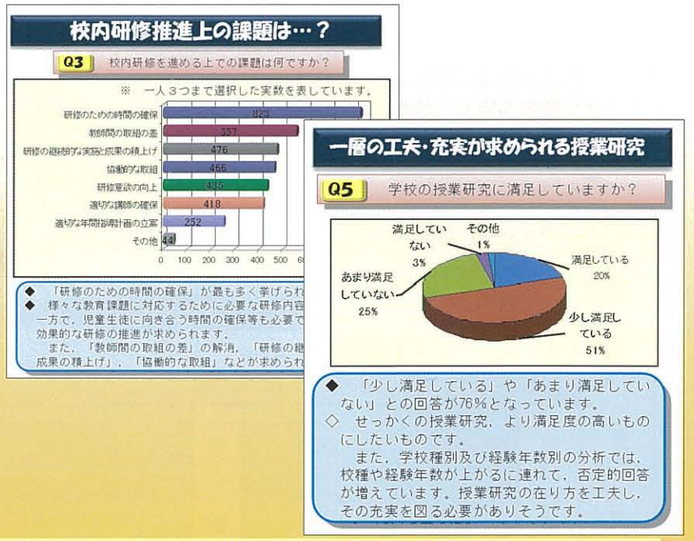
総合教育センターでは，22・23年度の２年間，「授業力を高める校内研修の進め方」をテーマに，“みんなで取り組み，学び合う授業研究”を目指して，プロジェクトによる研究に取り組んでいます。初年度である本年度は，校内研修や授業研究に関する現状や課題等を把握するためにアンケートを実施しています。このたび，集計結果の一部をリーフレットにして各学校に送付しました。校内研修や授業研究に関する本県教職員の意識がまとめられています。各学校では，校内研修等の一層の充実に向け，参考にしていただきたいと思います。

発表会では全体会の「調査研究の概要」の説明の中で，このプロジェクト研究について中間報告を行います。

【配布リーフレット】



【掲載内容の一部】



※　リーフレットは，教育センターWebサイトにも掲載しています。トップページの「調査研究」の「プロジェクトによる研究」の項目からアクセスしてください。

総合教育センター研究提携校の研究公開

10月下旬から11月にかけて，総合教育センター研究提携校３校で，研究公開が開催されました

各学校では，自校の実態及び児童生徒の心身の発達の段階や特性等を考慮して研究主題を設定し，教育実践及び教育上の諸課題の解決に役立つ研究開発の推進を目指して研究に取り組んできました。延べ1000人を超える参加者がありました。

鹿児島市立山下小学校

《11月12日（金）》

「『生きる力』をはぐくむ学習指導の開発Ⅲ」
～子どもが「学び」をつなぎ，「学び」を生かす学習指導～

本年度は，昨年度までの子ども自らが「学び」を見つめ，「学び」を生かす学習指導から一歩踏み込み，他者との交流を通して，自分自身の「学び」と他者の「学び」をつなぎ再構築するという視点で研究を進めてきました。

当日は，17学級で公開授業が行われ，その後，全体会，６つの分科会，講演が行われました。全体会では，「学び」をつなぐ学習指導の進め方について，

①　自分の「学び」を表現する
②　自分と他者の「学び」を交流する
③　自分の学びを再構築する

という３つの学習活動を，１単位時間や単元の学習過程に位置付け，手立てを講じていくことが重要であるとして，その具体的な手立てについて提案がなされました。

また，午後は，国立教育政策研究所山森光陽氏の「学びをつなぎ，学びを生かす学習指導の理論・実践・評価」の講演がありました。

鹿児島市立吉田南中学校

《10月22日（金）》

「『確かな学力』をはぐくむ学習指導」
～言語活動を通して基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る工夫～

本年度は，すべての学習活動の基盤である言語に関する能力に着目し，言語活動を通して基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習指導の工夫の研究を進めてきました。

当日は，12学級での一般授業，７学級での公開授業が行われ，午後からは会場を教育センターに移し，全体会，７分科会，講演が行われました。

全体会では，

①　各教科における「確かな学力」の明確化
②　基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための学習指導の工夫

の２つの視点からの研究発表がありました。各教科において「確かな学力」を定義することで研究の方向性が明らかになったこと，言語活動を各教科の指導計画に適切に位置付けることで，学習活動に工夫・改善が図られたことなどの発表がありました。

最後に，鹿児島大学教育学部大坪治彦教授による「豊かな学力の向上をめざして」の講演がありました。

鹿児島県立松陽高等学校

《11月17日（水）》

「よりよく生きる生徒の育成」
～知識・技能の習得と，思考力・判断力・表現力の育成のバランスを重視して～

松陽高校では，一昨年度から本研究主題で研究を進めてきました。

本年度は，特に

①　生徒の進路意識・学習意欲の向上と学習習慣の確立
②　学習意欲の向上を図りながら，基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るための指導方法の工夫・改善
③　思考力・判断力・表現力をはぐくむための指導方法の工夫・改善

の３つの内容を柱に研究を進めてきました。

当日は，音楽理論，美術史，英語の３つの研究授業と６教科（国語，地理・歴史，公民，数学，理科，情報）の授業が公開されました。その後，全体会と分科会において，協議が行われました。

各学校とも，教科等の本質に迫る白熱した研究討議が行われ，「今後の実践に生かしたい」との参加者の声が多数聞かれました。

研修者を募集します

長期研修

教員としての資質を高め，本県教育の充実・発展に寄与する人材の育成を図るために，１年間の研修を行います。

研修期間

平成23年４月から平成24年３月までの１年間

募集対象

教職経験７年以上でステップアップ研修を修了した小・中・高等学校及び特別支援学校の教員
（パワーアップ研修該当者を除く）

研修内容

各研修者が設定する教育実践上の課題に関する研究及び教育全般についての研修

研修者募集の詳細は教育センターWebサイトで御確認ください。

継続研修
（高等学校情報教育継続研修）

情報化に対応した情報教育を推進するため，年間を通して継続的に専門的研修を行います。

研修期間

平成23年５月から平成24年２月までの期間における金曜日（予定）〔平成22年度は年間19回実施〕

募集対象

① 農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉に関する学科，又はその他の専門に関する学科や総合学科を設置している高等学校において，情報技術・情報処理に関する科目を担当する教員及び情報教育の推進を担当する教員

② 普通科を設置している高等学校で，普通教科「情報」を担当している教員及び情報教育の推進を担当する教員

募集コース

①情報システム　②情報コンテンツ

研修内容

①共通研修　②コース別研修　③選択研修

平成22年度長期研修者研究発表会を開催します

期日：平成23年２月25日（金）
会場：県総合教育センター
大原台講堂

順番	教科等	発表者氏名	学校名	研究主題
1	国語	芝　智史	薩摩川内市立永利小学校	習得した知識・技能を活用する力をはぐくむ国語科指導の在り方
2	道徳教育	池下龍郎	姶良市立蒲生小学校	子ども一人一人が自他の生命の大切さを実感できる道徳学習の在り方
3	特別支援教育(自立活動)	村岡　綾	県立串木野養護学校	自立活動の指導内容を生活に生かすための指導の在り方
4	公民	岩切義弘	県立鹿児島中央高等学校	社会的事象を総合的にとらえ主体的に考察しようとする生徒の育成
5	工業	吉元貢士	県立鹿児島工業高等学校	工業技術への興味・関心をもち，主体的に学ぶ態度を育成する学習指導の在り方
6	道徳教育	安藤　忍	鹿児島市立紫原小学校	自己を深く見つめ，自己の生き方についての考えを深める子どもの育成
7	算数	安庭裕太	南九州市立松山小学校	図形領域における数学的な見方や考え方をはぐくむ算数科学習指導の在り方
8	生徒指導	出之口昭子	姶良市立建昌小学校	児童一人一人の自己肯定感や自己有用感を高める生徒指導の研究
9	音楽	坂本多恵	鹿屋市立花岡中学校	音や音楽を知覚し，感受する力を高める音楽科学習指導の在り方
10	特別支援教育(技術)	新町義樹	出水市立米ノ津中学校	中学校技術・家庭科における特別支援教育の視点を取り入れた学習指導の在り方
11	外国語	下野哲生	鹿屋市立吾平中学校	英語で意欲的に自己表現を図る「書くこと」の指導の在り方

【昨年度長期研修者研究発表会】

※　長期研修者研究発表会の詳細は，別途御案内いたします。

思い

「さりげない気遣い」

次長兼
研修部長　江口　公三

ある日、スーパーマーケットでレジに並んでいたときのことである。私の前にいた、十品くらい入った買い物かごを抱えた年配の女性から、

「お先にどうぞ。あなたの方が少ないから。」

と声をかけられた。

「いいえ、いいですよ。」

と答えると、

「いいのよ。いそがないから。」

とさらりと順番を譲って動かれた。支払いが終わり、お礼を伝えたら、

「いいのよ。何でもないことですから。」

と返事をされた。この短いやりとりの中に、その日はとても幸せを感じることができた。

他の人をさりげなく気遣う心。それをごく自然に行動に表せる人との出会い。人と人とのつながりはそんな日常の生活の中に多くあってほしい。

学習指導要領が改訂されて、道徳教育の重要性が強調され、一層の充実が図られようとしている。

私たち教職員は、そんなさりげない気遣いのできる子どもたちを育てていきたい。